

特集

ヘルシンキでオープンダイアログの「トレーナーズトレーニング」を受けて

| 森川すいめい、大井雄一、辻井弘美

3回連載：その2

斎藤環氏による読書会『開かれた対話と未来』リフレクションを経験する+会場からの質問に答える

| 斎藤 環（筑波大学・教授）

特別記事

勉強しながら取り組んだ
外国人技能実習制度。
看護補助者としての採用
◎木下孝一（みどりの風南知多病院）

座談会

誰も教えてくれなかった
精神科訪問看護ステーション
立ち上げのコツ
◎小瀬古伸幸+木下将太郎+渡邊恭介+田邊友也

編集後記

▶新型コロナで世間全体が騒がしいです。オリンピックも延期になってしまいましたね。弊社も遅ればせながら、在宅勤務が開始されるなど、試行錯誤が続いています。これまで社内では在宅勤務やフレックスタイム制に反対や懸念する声などもありましたが、現実にはウイルスという外圧であってなく変わるのかもしれませんが、ちなみに私は在宅勤務賛成派です（でも、会社に出る自由も保障していただきたいです）。人生いろいろありますけれども、こんな時こそポジティブに、そして知恵と連帯で乗り切っていきたいものです。▶話は変わりますが「今月の『精神看護』がもしかしてヒットしたのかも」と思う基準が自分の中にありまして。それは当社の2階にある書籍展示コーナーから「精神看護」が消える現象です。どんな事情でそうなるのかはわかりませんし、受付の女性が読んでもうだけかもしれませんが、とにかく「持っていきたい」と感じる何かがあったんだろうと思います。消えた号は、たいてい売れています。わはは。▶最近自分が買いい物でハマっているのは「minne」というサイトから、手作りのものを買うこと。先日はピアスを14個爆買いしてしまいました。そこで買くと、作り手からお手紙がついてきたり、おまけの何かが付いてきたりして、「相手との身近なやりとり」が感じられて嬉しいんですね。それは大型ネット通販では感じられないものです。『精神看護』もそんな存在でありたいです。（石川）

*予定ですので、著者、内容含め変更になる場合があります。

【今月号の表紙】The way we go

精神看護 第23巻第3号 2020年5月15日発行(隔月刊) 発行：株式会社医学書院 代表者：金原俊 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo ©2020, Printed in Japan 販売・PR部：☎03-3817-5659
『精神看護』編集室：☎03-3817-5769 FAX03-5804-0485 担当：石川・伊藤 E-mail: seikan@igaku-shoin.co.jp
本文・表紙デザイン：高見清史 (view from above) 表紙・目次写真：齋藤陽道 印刷・製本：アイワード
1部定価：本体1,400円+税
2020年年間購読料(送料弊社負担、年間6冊)：本体7,080円+税(冊子版)／本体10,080円+税(冊子+電子版/個人)／本体7,080円+税(電子版/個人)

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【COPY】(出版者著作権管理機構 委託出版物)

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-5244-5088、FAX03-5244-5089、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

*『精神看護』は、株式会社医学書院の登録商標です。